

2017年4月の金融経済概況のポイント

■景気の基調判断

- 4月の景気判断は、「一部に弱めの動きもみられるものの、基調的には持ち直している」としました。前回3月の判断と変更はありません。
- 個人消費は、大型店の売上動向には大きな変化はない一方、自動車の売行きは堅調です。観光は依然弱めではありますが、一部に持ち直しの動きもみられています。この間、公共投資は増加しており、住宅投資は引続き緩やかに持ち直しています。雇用は改善傾向が続いています。

■個人消費の動向

- 大型店売上高は、3月は前年比▲3.4%と前年実績を下回りました。5か月連続の前年割れです。3月は2月と異なり特に日数要因や曜日要因がある訳ではないため、ほぼ実勢を反映した結果と考えざるを得ません。なかなか弱めの動きから脱することができない状況です。
- 3月の新車登録台数は、前年比+7.7%と増加しました。軽自動車と軽自動車以外に分けてみると、軽自動車は、前年比▲3.5%と5か月連続で前年割れです。軽自動車は、昨年一時プラスに転じたものの、その後回復がもたついています。一方、軽自動車以外は、前年比+13.5%と大幅に増加しました。8か月連続の増加です。こちらは、新型車の中小型を中心にしっかりした動きになっています。トラックなどの商用車も伸びています。
- 以上からみて、個人消費は、全体としてほぼ横ばい圏内の動きと考えています。

■観光の動向

- 観光は、2月はマイナスの指標が目立っていましたが、3月はプラスの指標

も散見されました。

- 3月の道北4空港（旭川、稚内、女満別、紋別）の旅客数は、前年比+3.8%と7か月振りにプラスに転じました。もっとも、旭川空港の国際線は前年比▲83.0%と大幅減少が続いています。3月中も定期便は上海便のみで、他に韓国便のチャーター便があった程度でした。プラスに寄与したのは国内線で、旭川空港は前年比+13.3%、女満別空港は同+13.3%、稚内空港は同+20.8%、紋別空港は同+5.8%といずれも増加しました。なお、この結果、2016年度の実績は、4空港全体で前年比▲1.0%、国内線同+2.9%、国際線同▲40.3%となりました（旭川空港▲4.0%＜国内線+3.3%＞、女満別空港+2.0%、稚内空港+5.2%、紋別空港▲0.3%）。
- 3月のホテル・旅館宿泊者数は、前年比+3.9%とプラスに転じました。一方、市内ホテルの稼働率は、65.3%と前月に続き前年水準を下回りました。なお、ホテル・旅館宿泊者数の28年度合計は、前年比▲4.0%となりました。
- 各地観光は、旭山動物園が前年比+7.1%と再び増加に転じたほか、博物館網走監獄（前年比+7.6%）、利尻・礼文フェリー（同+6.8%）もプラスでした。層雲峡地区は同+0.0%とわずかながらではありますが、11か月振りのプラスとなり、ようやく下げ止まった感があります。

■公共投資の動向

- 3月の上川、オホーツク、宗谷の3総合振興局における公共工事請負額は、前年比+63.0%と大幅に増加しました。季節的にボリュームもかなり出ています。内容的には災害復旧工事が多いようです。この結果、年度初来の累計は、前年比+12.4%と大きく伸びました。建設業界では、人手不足と相まって、各社とも繁忙となっているようです。

■住宅着工

- 2月の新設住宅着工戸数は、前年比▲48.4%と大幅減少でした。減少となるのは5か月振りです。持家（前年比+18.0%）は引続きも二桁の伸びで

すが、ここ数か月大きく伸びていた貸家（同▲65.1%）が大幅に減少しました。当月の減少が一時的な振れなのか、それとも今後傾向が大きく変わるのかは、現時点ではよくわかりません。今少し様子を見たいと思います。

■雇用動向

- 雇用状況を示す指標は、引続きタイトであることを示しています。2月の有効求人倍率は、旭川が0.94倍と1倍を下回ったほか、前年水準も下回りましたが、稚内が1.11倍、北見が1.23倍、網走が1.14倍と引続き高い水準です。2月の新規求人数は、北見（前年比+6.9%）、網走（同+7.2%）が前年を上回りましたが、旭川（同▲4.8%）と稚内（同▲20.2%）が前年を下回りましたので、全体では前年比▲2.5%と4か月振りに前年を下回りました。

■今後のポイント

- 公共工事の増加が当地建設業界の仕事を繁忙にさせているほか、金融緩和の効果もあって、住宅投資や民間の非居住用の建築物も増加傾向にあり、これらが当地経済にとって明るい材料になっています。また、自動車の売れ行きが堅調です。全体としてはよい方向に向かっているのではないかと思います。観光も「回復してきた」と言うのは時期尚早と思いますが、少しずつ良い兆しが出ているように感じます。反面、道北景気の現状で今一つなのは、自動車以外の個人消費です。道北地域の景気がよくなったと皆が実感できるためには、やはり個人消費にもう少し動意がほしいところです。
- 先日公表した道北地域の3月短観では、業況判断DIは+12でした。前回（昨年12月 +14）に比べると若干低下しましたが、引続き良好な景況感を持続していると思われます。2016年度の売上の実績見込みは前年度比+0.3%とほとんど横ばいですが、経常利益は同+21.9%と大幅増益見込みとなっています。企業収益は好調です。しかし、残念ながら、設備投資は、2016年度の実績見込みが同▲10.2%で、2017年度もさらにマイナスの

計画（同▲7.8%）です。景気の本格的な回復のためには、上述の個人消費のほか、企業の設備投資にも動意がほしいところです。

以 上

景気判断の推移

公表月	日本銀行旭川事務所		日本銀行札幌支店		(参考)北海道財務局旭川財務事務所	(参考)北海道財務局北見出張所							
	前回比	道北(上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内)	前回比	全道	道北(上川・留萌・宗谷総合振興局管内)	オホーツク総合振興局管内							
2014年9月	→	天候要因等による振れを伴いつつ、基調的には着実に持ち直している	→	緩やかに回復している	持ち直している	消費税率引上げに伴う、駆け込み需要の反動が弱まってきており、緩やかに持ち直している							
10月	→	一部に緩慢さを残しつつも、基調的には着実に持ち直している	→	↓	↓	↓							
11月	↓	個人消費等の回復に遅れがみられるが、基調的には持ち直している	→				一部に弱さがみられるものの、持ち直している	一部に弱さが残るものの、緩やかに持ち直している					
12月	→	↓	↓	一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している	↓	↓							
2015年1月	→		→	↓			↓						
2月	→		→					↓	↓				
3月	→		→							↓	↓		
4月	→		→									↓	↓
5月	→		→										
6月	→		↓	↑			緩やかに回復している	↓	↓				
7月	→			→			↓			↓			
8月	公表なし		↓				↓						
9月	→		↓	→			↓	↓	↓				
10月	→	→											
11月	→	→											
12月	→	→											
2016年1月	→	→											
2月	→	→											
3月	→	→											
4月	→	→											
5月	→	→											
6月	→	→											
7月	→	→											
8月	公表なし			↓		↓							
9月	→	↓	→	↓	↓	↓							
10月	→		→										
11月	→		→										
12月	→		一部に弱めの動きもみられるものの、基調的には持ち直している				→						
2017年1月	→		↓				→	↓	↓	↓			
2月	→						→						
3月	→						→						
4月	→						↑				回復している		





